

2025年日本国際博覧会 環境影響評価準備書のあらまし

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

ご説明の順序

1. 環境影響評価の手続

2. 事業計画の内容

3. 環境影響評価結果

3-1. 調査、予測及び評価の結果

3-2. 総合評価

3-3. 事後調査の方針

4. 環境影響評価準備書の縦覧について

5. 意見書提出先

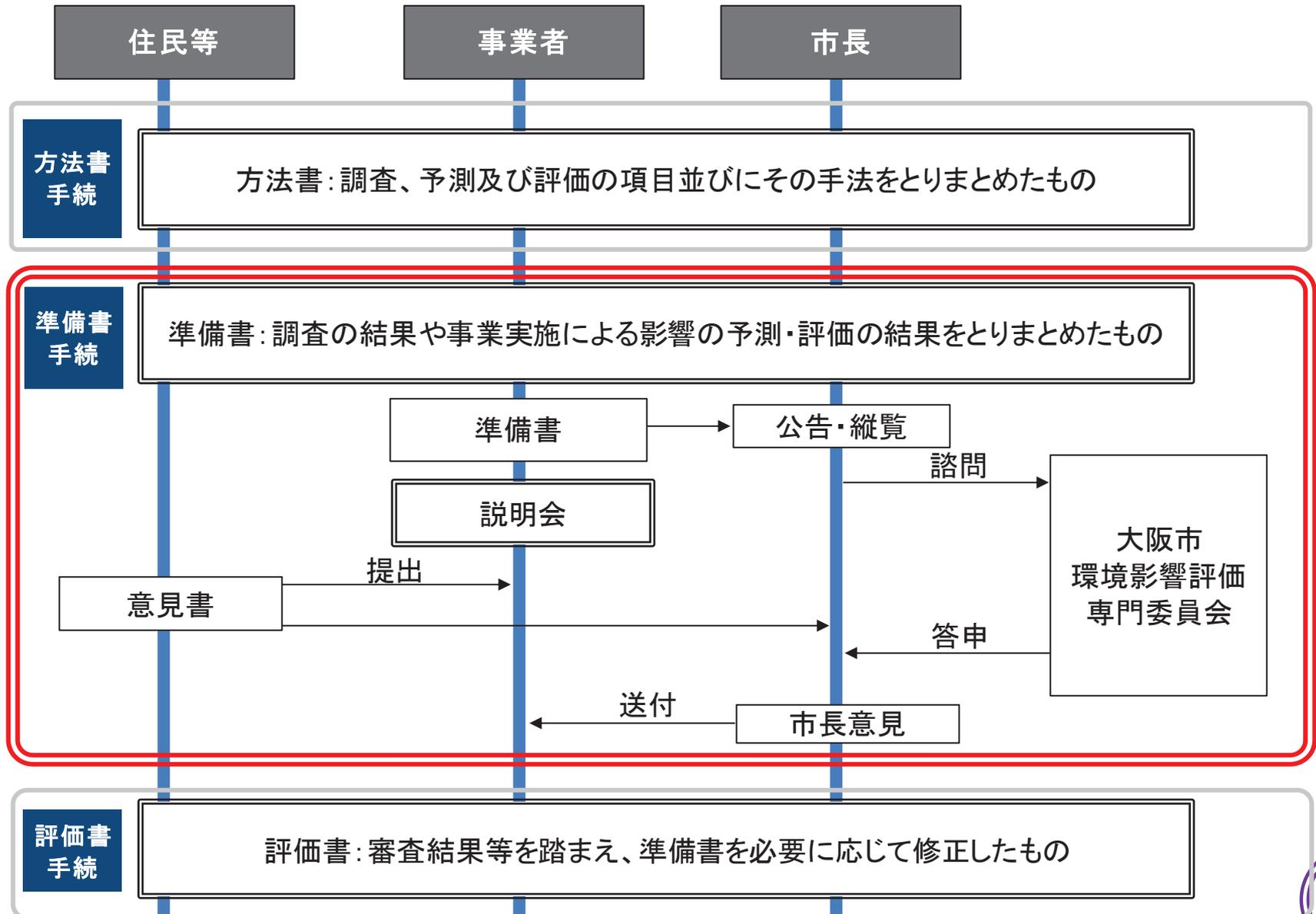
1. 環境影響評価の手続

環境影響評価とは

環境影響評価制度とは、大規模事業を実施しようとするときに、事業者自らが、あらかじめその事業が環境にどのような影響を及ぼすのかを調査・予測・評価し、その結果を公表して、住民等の意見を聴きながら、環境の保全や創造について適正な配慮をするための制度です。

- 今回の万博は、**大阪市環境影響評価条例**の対象事業に該当
会場：開発行為（施行区域面積 50ヘクタール以上）
（仮称）舞洲駐車場：駐車場（同時駐車能力 1,000台以上）
（※万博会場及び舞洲駐車場を一体として手続き実施）

環境影響評価の手續き



2 . 事業計画の内容

事業の概要

名称	2025年日本国際博覧会
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
位置	此花区夢洲（会場予定地） 此花区舞洲（（仮称）舞洲駐車場予定地）
面積	会場予定地：約159ha （仮称）舞洲駐車場予定地：約31ha （約9,000台想定）
開催期間（予定）	2025年4月13日から2025年10月13日まで
開催時間（予定）	午前9時から午後10時まで
想定入場者数	約2,820万人

事業計画位置



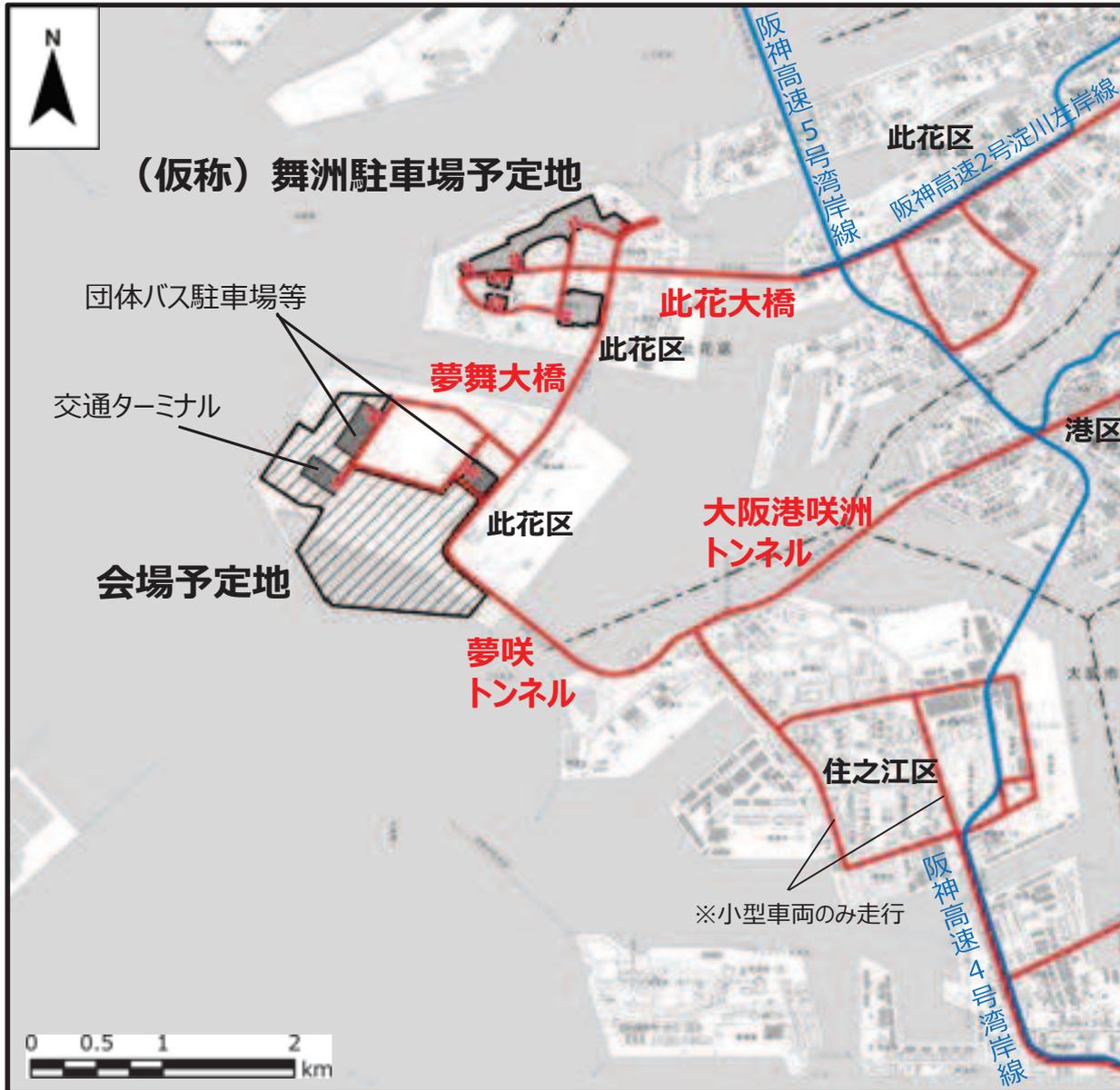
完成予想図 (会場イメージ)



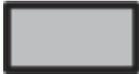
会場配置計画



供用時の関連車両の主要な走行ルート



凡例

-  会場予定地
-  (仮称) 舞洲駐車場予定地
-  市区界
-  車両入口
-  車両出口

供用時の関連車両
主要走行ルート

-  都市高速道路
-  一般道路

注：走行ルートは現時点での計画を示しており、今後の周辺道路の整備状況等により変更となる可能性があります。

この地図は、国土地理院の電子地形図25000をもとに作成しました。

工事計画

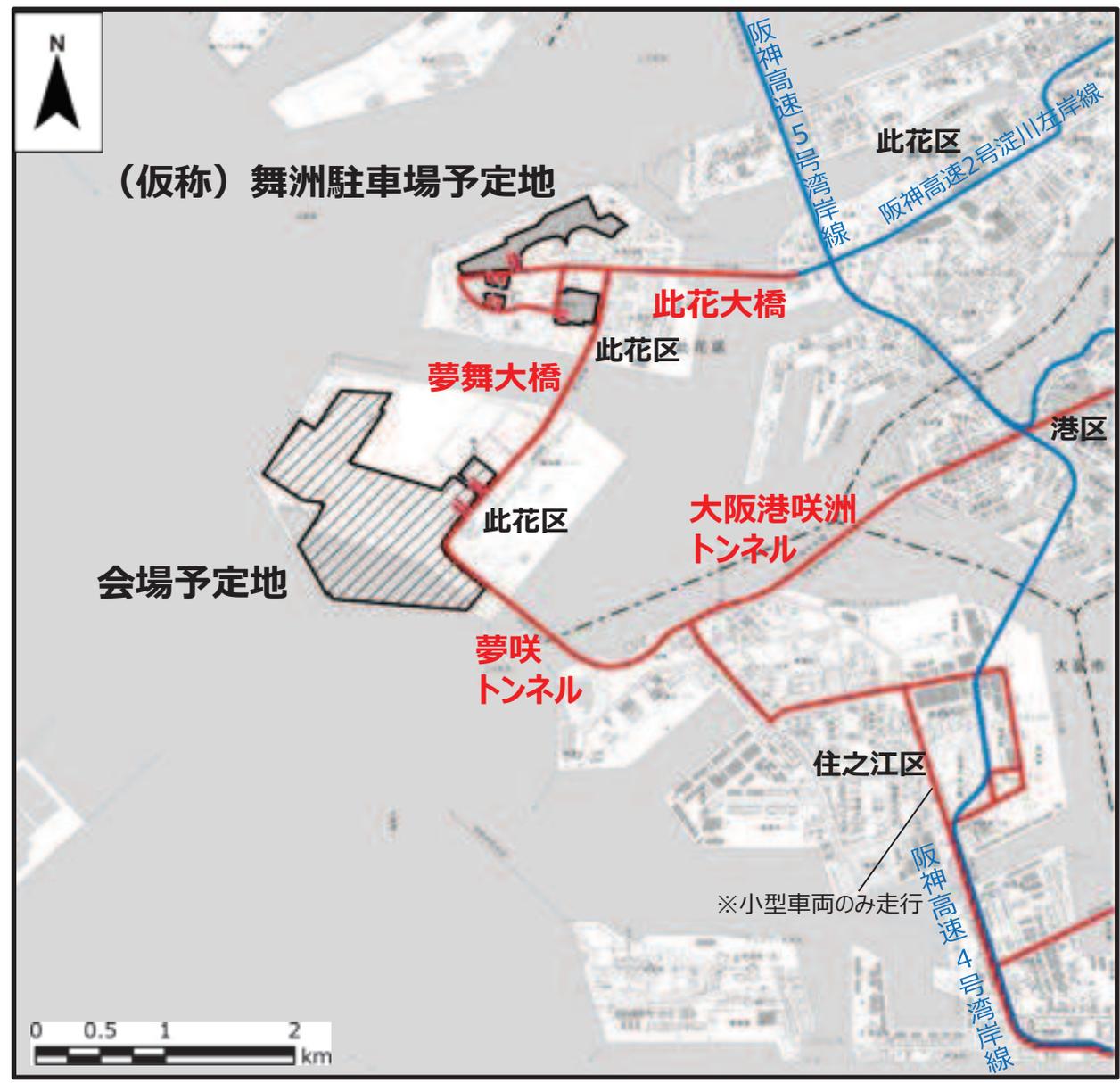
会場予定地の工事日程

工事内容	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
造成・インフラ工事	■				
パビリオン等建築工事		■			
開催・供用期間				■	
撤去工事				■	■

(仮称) 舞洲駐車場予定地の工事日程

工事内容	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
敷均し・敷地造成工事			■		
建築・設備設置工事			■		
開催・供用期間				■	
撤去工事				■	

工事関連車両の主要な走行ルート



凡例

-  会場予定地
-  (仮称) 舞洲駐車場予定地
-  市区界
-  車両入口
-  車両出口

**工事関連車両
主要走行ルート**

-  都市高速道路
-  一般道路

注：走行ルートは現時点での計画を示しており、今後の周辺道路の整備状況等により変更となる可能性があります。

※小型車両のみ走行

この地図は、国土地理院の電子地形図2500をもとに作成しました。

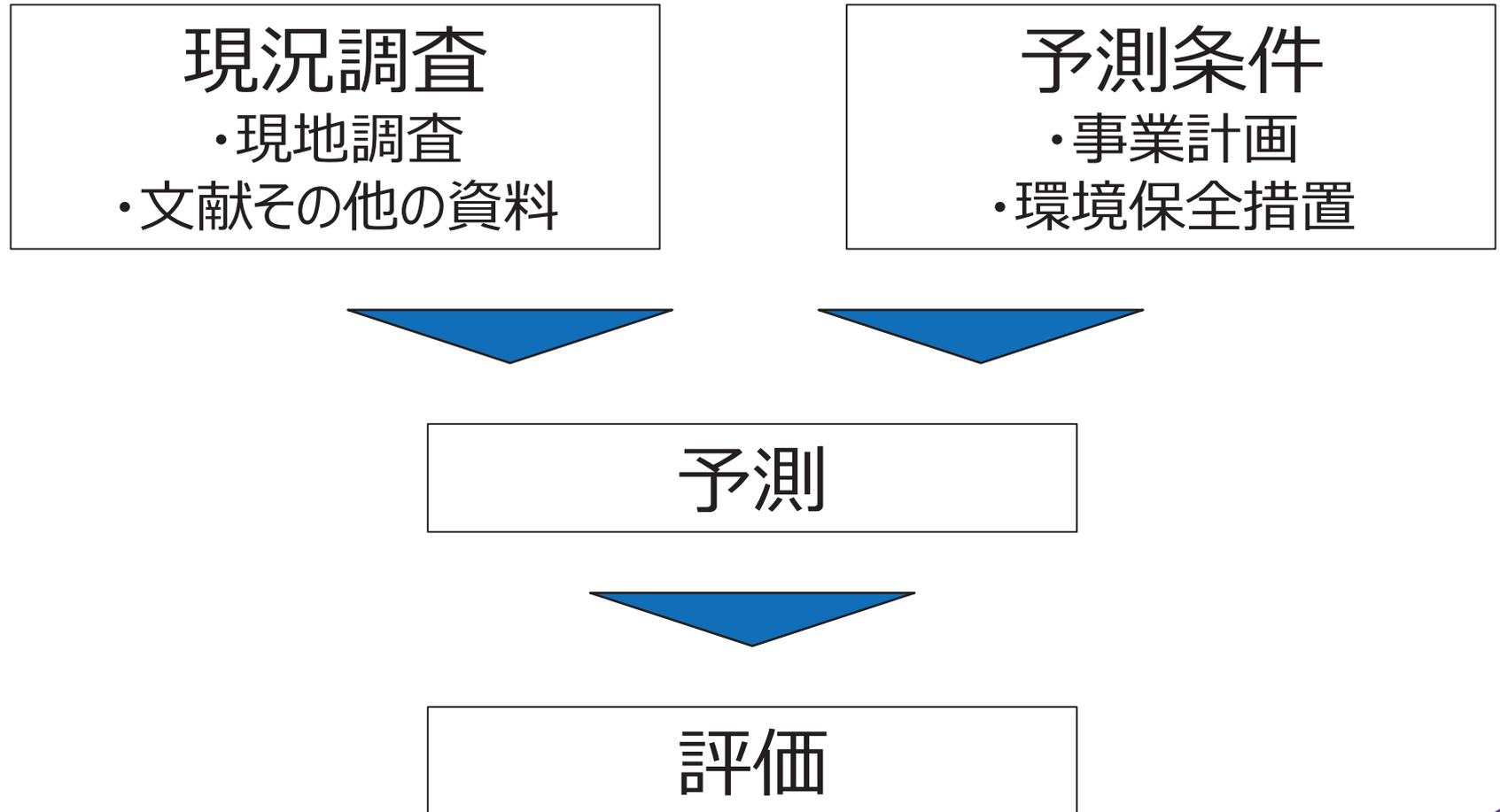
3. 環境影響評価結果

3-1. 調査、予測及び評価の結果

3-2. 総合評価

3-3. 事後調査の方針

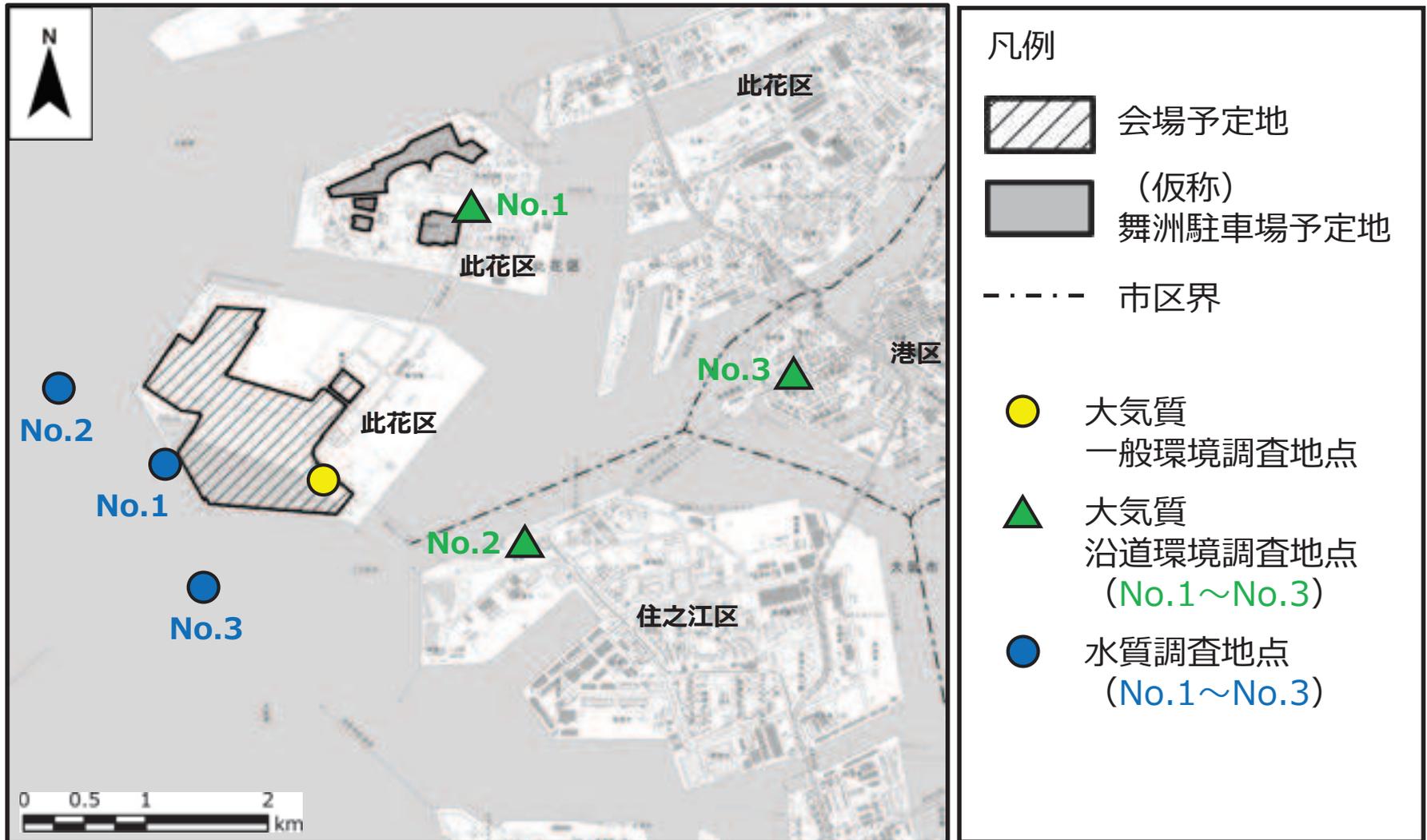
環境影響評価の流れ



環境影響評価項目

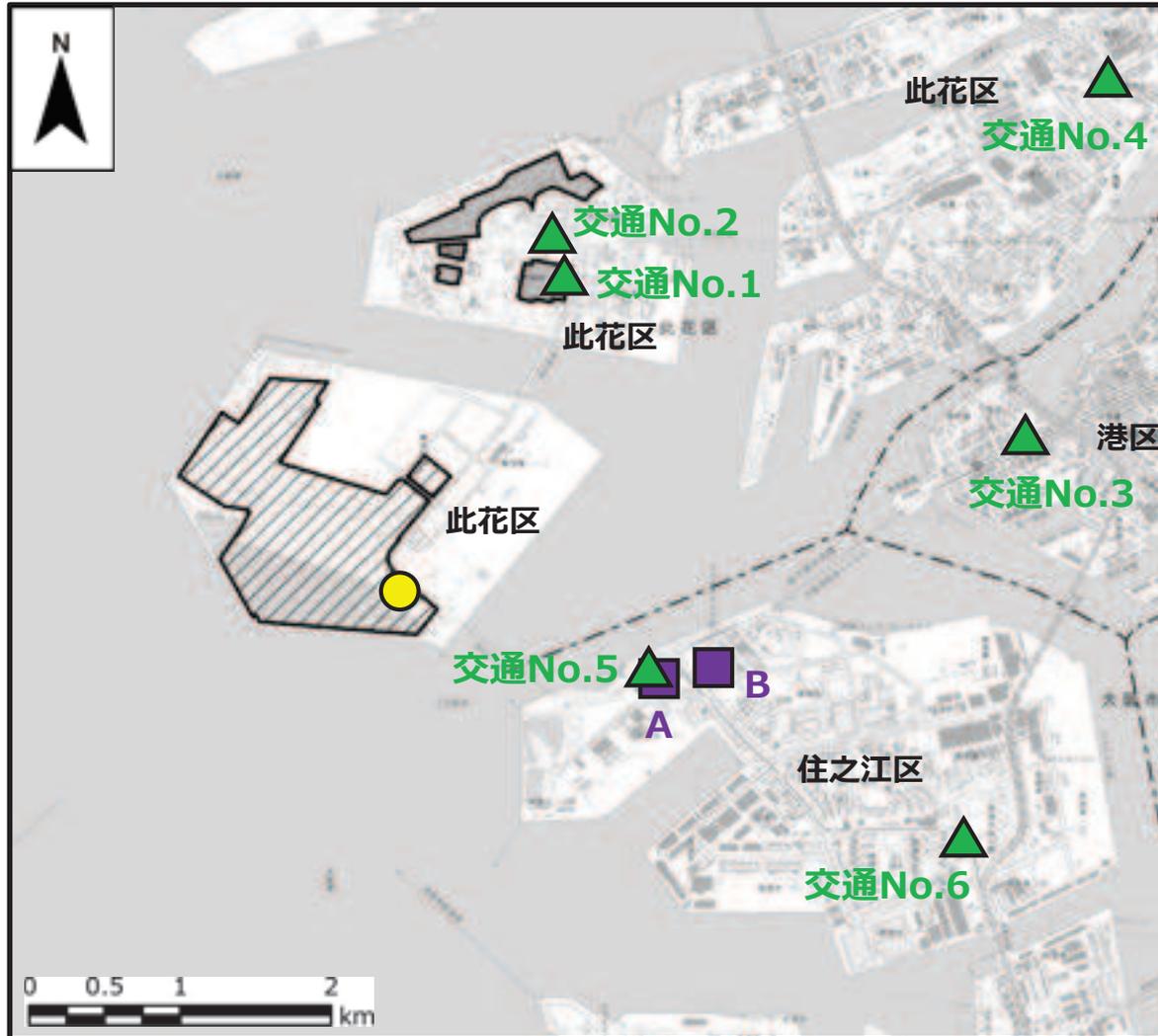
- | | | | |
|-----|------------|------|---------------------|
| I | 大気質 | VII | 陸域動物・陸域植物・
陸域生態系 |
| II | 水質 | VIII | 海域動物・海域植物・
海域生態系 |
| III | 土壌 | IX | 景観 |
| IV | 騒音・振動・低周波音 | X | 自然とのふれあい
活動の場 |
| V | 廃棄物・残土 | XI | 夢洲関連事業との
複合的な影響 |
| VI | 地球環境 | | |

現地調査地点



この地図は、国土地理院の電子地形図25000をもとに作成しました。

現地調査地点



凡例

-  会場予定地
-  (仮称)
舞洲駐車場予定地
-  市区界
-  環境騒音・振動、低周波音調査地点
-  環境騒音、低周波音調査地点(A, B)
-  道路交通騒音・振動、交通量調査地点(交通No.1～交通No.6)

この地図は、国土地理院の電子地形図25000をもとに作成しました。

現地調査結果（調査の様子）

地上気象観測



水質調査



騒音・振動・低周波音の調査



交通量調査



現地調査結果（大気質）

- 会場予定地及び沿道環境3地点において、大気質調査の四季調査を行いました。

大気質の調査結果

調査地点	期間平均値		
	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	二酸化硫黄 (ppm)
会場予定地	0.015	0.024	0.002
沿道No.1（臨港道路舞洲4号線）	0.021	0.022	—
沿道No.2（臨港道路コスモ北線）	0.019	0.024	—
沿道No.3（国道172号）	0.020	0.023	—

現地調査結果（水質）

■ 会場予定地周辺海域において、水質調査を行いました。

水質の調査結果

水素イオン濃度	上層	7.8～8.8	底層溶存酸素量(mg/L)	下層	1.4～10
	下層	7.9～8.1	浮遊物質(mg/L)	上層	1～7
溶存酸素量(mg/L)	上層	5.1～12		塩分	下層
	下層	1.4～8.7	上層		4.1～30.9
化学的酸素要求量 (mg/L)	上層	1.9～6.1	TOC(mg/L)	下層	28.1～32.3
	下層	1.1～2.8		上層	1.1～2.9
n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	上層	0.5未満	クロコフィルa(μg/L)	下層	1.0～1.7
	下層	0.5未満		上層	1.5～72
大腸菌群数 (MPN/100mL)	上層	2.0～5.4×10 ⁴	アンモニア性窒素(mg/L)	下層	0.2～20
	下層	1.8未満～2.4×10 ²		上層	0.02～0.49
全窒素(mg/L)	上層	0.28～1.3	ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	下層	0.03～0.17
	下層	0.15～0.87		上層	0.078～0.10
全リン(mg/L)	上層	0.020～0.14	ふっ素(mg/L)	上層	0.48～0.91
	下層	0.017～0.072		下層	0.91～1.1
全亜鉛(mg/L)	上層	0.002～0.034	ほう素(mg/L)	上層	2.1～3.8
	下層	0.001未満～0.012		下層	3.7～4.4
ノニルフェノール(mg/L)	上層	0.0002未満	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(mg/L)	上層	0.04未満～0.65
	下層	0.0002未満		下層	0.10～0.12
直鎖アルキルベンゼンスルホン 酸及びその塩(mg/L)	上層	0.0006未満			
	下層	0.0006未満			

現地調査結果（騒音）

- 会場予定地1地点、会場予定地周辺の一般環境2地点及び関連車両主要走行ルート6地点において、現況調査を行いました。

騒音調査結果（等価騒音レベル： L_{Aeq} ）（単位：デシベル）

区分	平日		休日	
	昼間	夜間	昼間	夜間
会場予定地	52	48	48	48
一般環境	55～59	49～51	48～51	46～50

道路交通騒音調査結果（等価騒音レベル： L_{Aeq} ）（単位：デシベル）

予測地点	平日		休日	
	昼間	夜間	昼間	夜間
交通No.1(臨港道路 舞洲4号線)	64	59	59	57
交通No.2(臨港道路 舞洲2号線)	62	58	58	52
交通No.3(国道172号)	67	62	62	61
交通No.4(市道福島桜島線)	69	66	65	63
交通No.5(臨港道路 コスモ北線)	71	64	62	62
交通No.6(臨港道路 中央幹線)	67	62	64	60

現地調査結果（振動）

- 会場予定地1地点、関連車両主要走行ルート6地点において、現況調査を行いました。

振動調査結果（振動レベルの80%レンジ上端値： L_{10} ）

（単位：デシベル）

区分	平日		休日	
	昼間	夜間	昼間	夜間
会場予定地	35	22	18	17

道路交通振動調査結果（振動レベルの80%レンジ上端値： L_{10} ）

（単位：デシベル）

予測地点	平日		休日	
	昼間	夜間	昼間	夜間
交通No.1(臨港道路 舞洲4号線)	43	37	31	29
交通No.2(臨港道路 舞洲2号線)	28	22	21	17
交通No.3(国道172号)	55	47	47	39
交通No.4(市道福島桜島線)	42	38	36	35
交通No.5(臨港道路 コスモ北線)	43	29	26	21
交通No.6(臨港道路 中央幹線)	42	33	35	29

現地調査結果（低周波音）

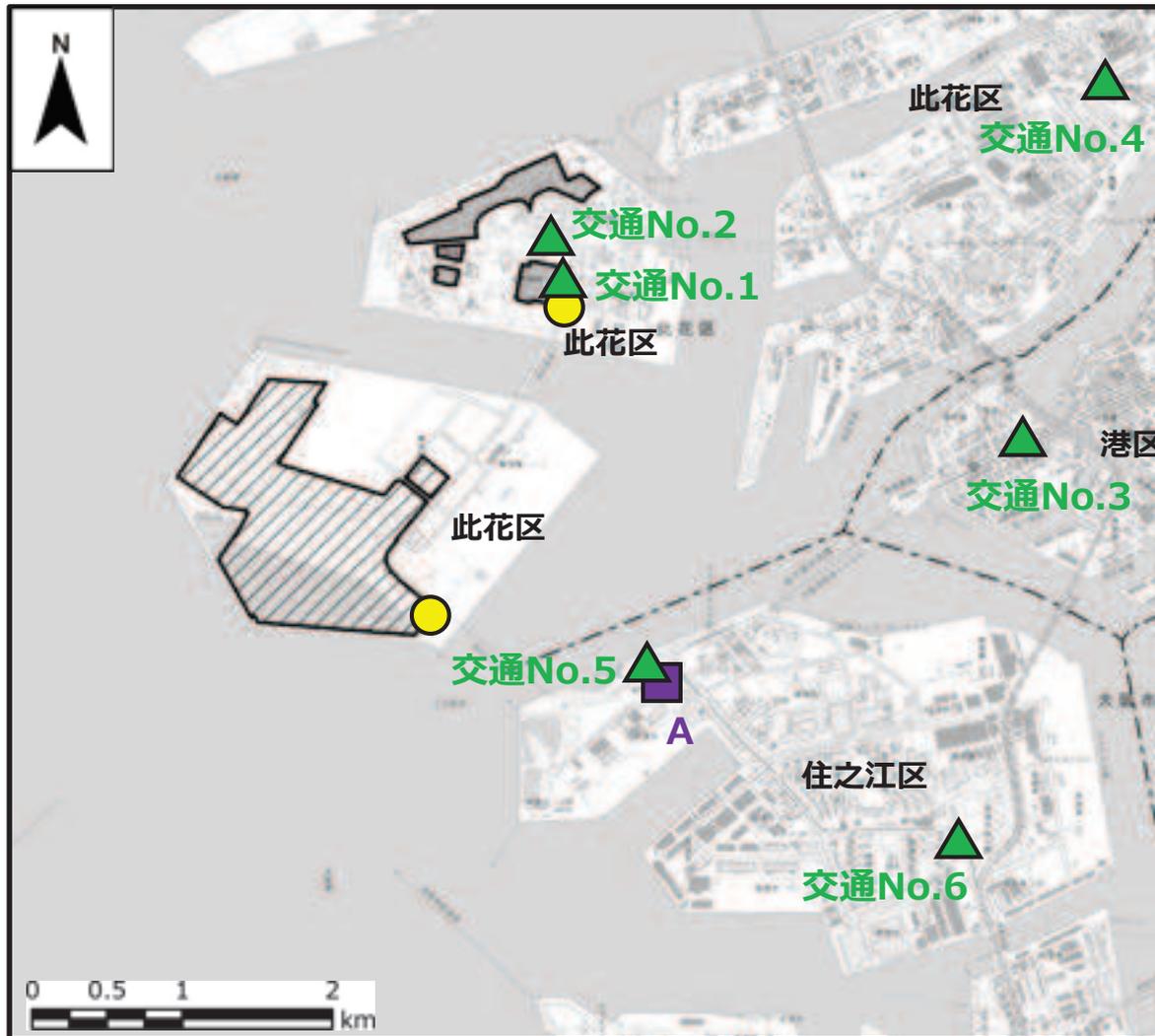
- 会場予定地1地点、会場予定地周辺の一般環境2地点において、現況調査を行いました。

低周波音調査結果（G特性音圧レベル）

（単位：dB(G)）

区分	平休日	昼間	夜間
会場予定地	平日	76	71
	休日	69	68
一般環境	平日	77~79	71
	休日	68	67

予測地点

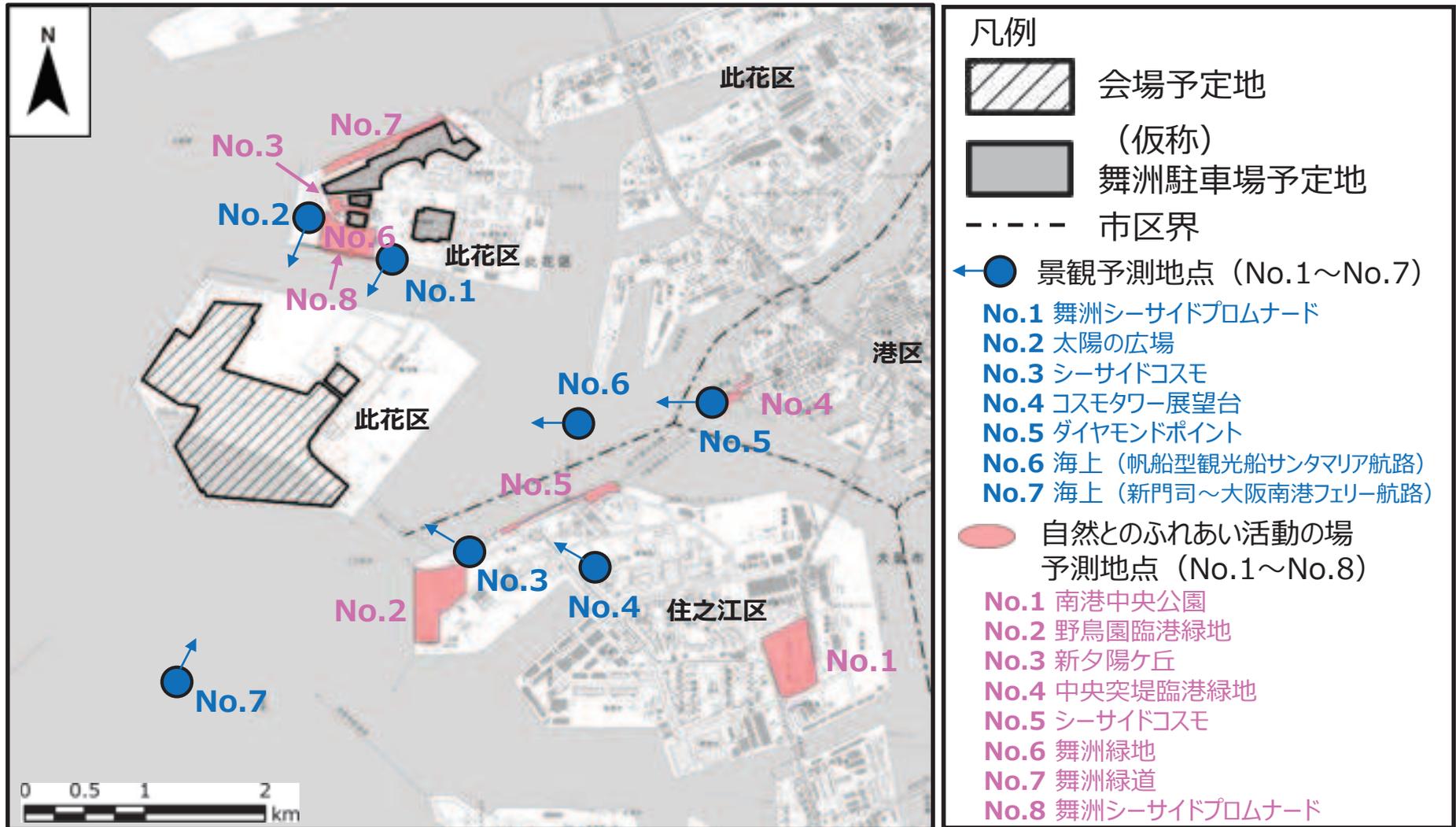


凡例

-  会場予定地
-  (仮称)
舞洲駐車場予定地
-  市区界
-  騒音・振動予測地点
(敷地境界)
-  環境騒音、低周波音
予測地点(A)
-  大気質、騒音、振動
(関連車両の走行)
予測地点
(交通No.1～交通No.6)

この地図は、国土地理院の電子地形図25000をもとに作成しました。

予測地点



この地図は、国土地理院の電子地形図25000をもとに作成しました。

I 大気質（環境影響評価項目）

◆環境影響評価項目

影響要因 環境要素		会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地					
		施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用	建設・解体 工事			
			建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行			土地の改変・解体	建築物の存在	(施設関連車両の走行) 施設の供用	建設機械の稼働
大気質	二酸化硫黄					○							
	二酸化窒素		○	○	○	○			○	○	○		
	浮遊粒子状物質		○	○	○	○			○	○	○		

注 ○：選定項目

I 大気質（施設の利用による影響）

◆施設の供用により発生する排出ガスの予測結果

二酸化窒素			浮遊粒子状物質	
日平均値の 年間98%値	環境保全目標値		日平均値の 2%除外値	環境保全目標値
(ppm)	環境基準値	大阪市環境 基本計画の 目標値	(mg/m ³)	環境基準値
0.041	1時間値の 日平均値が 0.04～0.06ppm のゾーン内または それ以下であること	1時間値の 1日平均値が 0.04ppm 以下 であること	0.060	1時間値の 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下 であること

■いずれの項目についても、予測地点において環境基準値を下回ると予測されました。

I 大気質（施設の利用による影響）

◆施設関連車両の走行及び船舶の停泊・航行により発生する排出ガスの予測結果

予測地点	二酸化窒素		浮遊粒子状物質		
	日平均値の 年間98%値	環境保全目標値		日平均値の 2%除外値	環境保全 目標値
	(ppm)	環境基準値	大阪市環境 基本計画の 目標値	(mg/m ³)	環境基準値
交通No.1 (臨港道路 舞洲4号線)	0.042	1時間値の 日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内または それ以下であること	1時間値の 1日平均値が 0.04ppm 以下 であること	0.048	1時間値の 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下 であること
交通No.2 (臨港道路 舞洲2号線)	0.039			0.050	
交通No.3 (国道172号)	0.040			0.049	
交通No.4 (市道福島桜島線)	0.041			0.050	
交通No.5 (臨港道路 コスモ北線)	0.042			0.050	
交通No.6 (臨港道路 中央幹線)	0.041			0.050	

■ いずれの項目についても、予測地点において環境基準値を下回ると予測されました。

I 大気質（環境保全措置・開催時）

◆主な環境保全措置（開催時）

- ・高速道路の利用促進への誘導を行い交通渋滞の抑制に努めます。
- ・（仮称）舞洲駐車場の事前予約制の導入を行うことで、来場時間の平準化を行い車両のピーク時間帯への集中を回避します。
- ・空ふかしの防止やアイドリングストップの励行等、大気汚染物質の排出量の低減に努めます。
- ・空調熱源については、低NOx機器を採用し、大気汚染防止に努めます。

排出ガスによる周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

I 大気質（工事の実施による影響）

◆建設機械の稼働により発生する排出ガスの予測結果

二酸化窒素			浮遊粒子状物質	
日平均値の 年間98%値	環境保全目標値		日平均値の 2%除外値	環境保全目標値
(ppm)	環境基準値	大阪市環境 基本計画の 目標値	(mg/m ³)	環境基準値
0.041	1時間値の 日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内または それ以下であること	1時間値の 1日平均値が 0.04ppm 以下 であること	0.060	1時間値の 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下 であること

■ いずれの項目についても、予測地点において環境基準値を下回ると予測されました。

I 大気質（工事の実施による影響）

◆ 工事関連車両の走行及び船舶の停泊・航行により発生する排出ガスの予測結果

予測地点	二酸化窒素			浮遊粒子状物質	
	日平均値の 年間98%値	環境保全目標値		日平均値の 2%除外値	環境保全 目標値
	(ppm)	環境基準値	大阪市環境 基本計画の 目標値	(mg/m ³)	環境基準値
交通No.1 (臨港道路 舞洲4号線)	0.041	1時間値の 日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内または それ以下であること	1時間値の 1日平均値が 0.04ppm 以下 であること	0.047	1時間値の 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下 であること
交通No.2 (臨港道路 舞洲2号線)	0.039			0.050	
交通No.3 (国道172号)	0.040			0.049	
交通No.5 (臨港道路 コスモ北線)	0.042			0.050	
交通No.6 (臨港道路 中央幹線)	0.041			0.049	

■ いずれの項目についても、予測地点において環境基準値を下回ると予測されました。

I 大気質（環境保全措置・工事中）

◆主な環境保全措置（工事中）

- ・建設資材等の運搬は、車両走行ルート of 通行時間帯の配慮、運転者への適正走行の周知徹底、工事関連車両の運行管理を行います。
- ・車両走行ルートの適切な設定を行い、歩道を有する幹線道路や高速道路の利用を優先します。
- ・工事関連車両のタイヤ洗浄等により粉じんの飛散防止に努めます。
- ・船舶の航行にあたっては、航行速度の最適化に努め、高負荷運転をしないよう関係者への周知徹底を図ります。
- ・排出ガス対策型建設機械を採用するよう努め、建設機械の空ふかしの防止、アイドリングストップの励行及び同時稼働のできる限りの回避等の適切な施工管理を行います。
- ・工事の実施にあたっては、工区割を行い、できる限り影響が低減されるよう、工事の平準化に努めます。

排出ガスによる周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

II 水質（環境影響評価項目）

◆ 環境影響評価項目

影響要因 環境要素		会場予定地					(仮称) 舞洲駐車場予定地				
		施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事		施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設・解体 工事		土地の改変・解体
			建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働			工事関連車両の走行	建設機械の稼働	
水質	浮遊物質					○					
	水素イオン濃度					○					

注 ○：選定項目

Ⅱ 水質（工事の実施による影響）

◆ 予測結果

建設・解体工事中に発生する排水による周辺海域の水質への予測結果は、会場予定地及び（仮称）舞洲駐車場予定地において汚水の回収や沈砂池による適切な処理を行うことにより、影響は小さいものと予測されました。

◆ 主な環境保全措置（工事中）

- ・工事中の生活排水を含む汚水は、回収を行い適正に処理します。
- ・著しい降雨時の土工は極力避け、濁水の発生が抑制されるよう努めます。
- ・工事中の雨水排水は、SSの除去を行った後に、適正に処理する計画です。
- ・また、コンクリート打設等に伴うアルカリ性の排水はpH調整を行った後にウォーターワールドを經由して既設の余水吐より放流する計画です。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

Ⅲ 土壌（環境影響評価項目）

◆ 環境影響評価項目

影響要因 環境要素	会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地					
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設・解体 工事			
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行			土地の改変・解体	建設機械の稼働	工事関連車両の走行	土地の改変・解体
土壌						○						

注 ○：選定項目

Ⅲ 土壌（工事の実施による影響）

◆ 予測結果

掘削により発生する土砂については原則会場内で盛土や埋め戻しに使用するため、夢洲外への搬出は行わないことから、環境への影響は小さいと予測されました。

◆ 主な環境保全措置（工事中）

- ・土壌の掘削に際しては土壌汚染対策法等に基づき散水等、土壌の飛散防止を図ります。
- ・工事関連車両の会場予定地の出場にあたっては、タイヤ等、洗浄を実施し付着した土壌の会場予定地からの持ち出しを防止します。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

IV 騒音・振動・低周波音（環境影響評価項目）

◆環境影響評価項目

影響要因 環境要素		会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地				
		施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設・解体 工事		
			建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行			土地の改変・解体	建築物の存在	建設機械の稼働
騒音	等価騒音レベル等		○	○		○			○		○	
	L ₅ 等				○					○		
振動	L ₁₀ 等		○	○	○	○			○	○	○	
低周波音	G特性音圧レベル等		○									

注 ○：選定項目

IV 騒音・振動・低周波音（施設の利用による影響）

◆施設の供用により発生する騒音の予測結果（敷地境界）

（単位：デシベル）

時間区分	到達騒音レベル (L_{A5})				環境保全 目標値
	会場予定地		（仮称）舞洲駐車場予定地		
	平日	休日	平日	休日	
朝（6時～8時）	36	36	46	46	60
昼間（8時～18時）	38	38	45	45	65
夕（18時～21時）	38	38	43	43	60
夜間（21時～6時）	38	38	45	45	55

■会場予定地及び（仮称）舞洲駐車場予定地において、環境保全目標値未満でした。

◆施設の供用により発生する騒音の予測結果（環境地点）

（単位：デシベル）

予測地点	平休日	時間区分	到達騒音レベル (L_{Aeq})	現況騒音レベル (L_{Aeq})	総合騒音レベル (L_{Aeq})	環境保全 目標値
一般環境 A	平日	昼間	45	59	59	60
		夜間	29	51	51	50
	休日	昼間	45	51	52	60
		夜間	29	50	50	50

■環境保全目標値を上回っている時間帯は、現況においても環境保全目標値を上回っており、現況を悪化させない結果でした。